

## 令和5年度第4回住吉区区政会議

1 日時：令和6年3月7日（木） 午後6時30分～午後8時33分

（午後7時24分～午後8時7分の間は区政会議を中断し、グループディスカッションを実施）

2 場所：住吉区役所4階 第4・5会議室

3 出席者

委員：岩根麻琴委員、鍛冶本七重委員、栗野由佳委員、河嶋利彦委員、小寺正人委員、齋木進太郎委員、繁田文三委員、菅原正二委員、田中貞夫委員、谷山圭子委員、佃井敏通委員、辻野けんま委員、中野薫委員、仲本房司委員、浜田眞里子委員、福留千佳委員、藤本陽子委員、梶野隆平委員、山本譲委員、和田勅子委員、渡邊博彦委員

区役所：平澤宏子（区長）、樋口幸生（副区長）、田中斉（総務課長）、中野泰裕（政策推進課長）、山田美奈子（教育文化課長）、小林資明（地域課長）、山尾貴彦（住民情報課長）、柴田純男（保険年金課長）、小西宏樹（保健福祉課長）、福田利明（保健子育て担当課長）、仲間いずみ（保健主幹）、稲岡訓規（生活支援課長）、北野陽一（総務課長代理）

大阪公（市）立大学：岸本渚、堀建哉 ほか

4 議題

（1）協議事項

- ・令和6年度住吉区予算（案）について
- ・令和6年度住吉区区政会議の開催予定（案）について

（2）報告事項

- ・令和5年度第2回住吉区総合教育会議について
- ・住吉区将来ビジョン2028（案）にかかるパブリック・コメントの結果  
および住吉区将来ビジョン2028の策定について
- ・住吉区将来ビジョン2028表紙について

5 グループディスカッション

テーマ 「これからの地域活動について」

## 6 発言者及び発言内容は以下の通り

【北野（司会）】 ただいまより、令和5年度第4回住吉区区政会議を開催いたします。

本日はお忙しい中、ご参加いただき、ありがとうございます。本日、司会を務めさせていただきます政策推進課長代理の北野といたします。よろしくお願いいたします。

それでは、開催に当たりまして、平澤区長よりご挨拶を申し上げます。

【平澤区長】 皆さん、こんばんは。住吉区長の平澤です。委員の皆様方におかれましては、夜の遅い時間、また、年度末のお忙しいときにご参加いただきまして、本当にありがとうございます。今年度、最後の区政会議ということになります。

今年度は将来ビジョンの策定ということで、委員の皆様方にはビジョン検討会への参画をはじめ、今年は非常にたくさんの場面でお力をお借りすることになりました。おかげさまをもちまして、ビジョンのほうもパブリック・コメントも終了いたしまして、確定しております。それは本日報告をさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

今回、初めての試みということで、公立大学生の方に来ていただきまして、これからの地域活動についてということでの意見交換というのを初めての試みをやらせていただこうと思っております。やっぱり若い方のご意見というのはなかなか聞く機会がないなどといったことも聞いておりましたので、せっかくの場ですので、いろいろ既に意見も考えてきていただいているという状況ですので、本当に忌憚のない意見交換と。ここですぐ結論を出すということではなくて、若い人はこんなことを考えているんだなというふうな意見交換ができればと思っておりますので、皆様方、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

本日、また長丁場になるかもしれませんが、最後までお付き合い、よろしくお願いいたします。

【北野（司会）】 ありがとうございます。

会議を始めるに当たりまして、皆様にお願いがございます。この区政会議は、条例に基づく会議となっております。後日、区政会議録等を公開いたします関係上、録音並びに写真撮影をさせていただきます。また、大阪市ではデジタルツールを最大限活用した区政会議の推進の取り組みの1つとして、区政会議の様子を動画配信にて公開するウェブ傍聴の実現をめざしております。今回の第4回区政会議については、会議終了後、区ホームページ、ユーチューブに公開する予定です。なお、個人のプライバシーに関することや、個人に対する中傷的な発言など、そのまま配信することが妥当でないと判断した場合については、会議終了後、動画の編集を行い、発言を修正、削除して会議録を作成することがあり

ますので、ご了承のほう、よろしく申し上げます。

続きまして、条例第8条第2項に、区長は必要があると認めるときは関係者の区政会議への出席を求め、その意見を聞くことができると規定されており、本日は大阪公立大学の学生さんにお越しいただいております。後ほどグループディスカッションに参加いただき、ご意見をいただく予定としております。

次に、令和6年2月1日付で区政会議委員の交代がございましたので、報告のほうをさせていただきます。

住吉区商店街連盟の市田委員に代わり、田中委員でございます。

また、令和6年3月1日付で公募委員の補充がございましたので、報告をさせていただきます。

公募委員として河嶋委員です。

ここで、本日の委員の出席状況ですが、委員定数24名のところ、現在20名にご出席いただいております。条例第7条による定足数であります定数の2分の1以上を満たしていることをご報告させていただきます。

それでは、以降の区政会議の議事進行を辻野議長をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

**【辻野議長】** 皆さん、こんばんは。議長の辻野です。本日もどうかよろしくお願いいたします。

まず、会議の進め方なんですけれども、協議事項として、令和6年度住吉区予算（案）について、次に、令和6年度住吉区区政会議の開催予定（案）についてを関係課長から説明をしていただきます。

その次に報告事項として、令和5年度第2回住吉区総合教育会議、住吉区将来ビジョン2028（案）にかかるパブリック・コメントの結果及び住吉区将来ビジョン2028策定についてを関係課長から報告していただきます。

後ほど質問の時間を設けますので、区政会議の委員の皆様にご意見を承りたいと思います。

また、住吉区将来ビジョン2028表紙については、本日お越しになっている大阪市立大学文学部4年生の岸本渚さんから報告していただきます。大阪公立大学に名前が変わっていますけれども、2020年度入学生ということで、大阪市立大学の学生さんということになっています。

次に、先ほど区長からもお話がありましたけれども、グループに分かれていただいて、これからの地域活動をテーマにして、本日来られている大阪公立大学の学生の皆さんと意見交換を行っていただきたいと思います。

先ほど区長からもお話がありましたけれども、これまでこの区政会議の中でも何度も話題になっていて、地域をどのようにして盛り上げていこうかと。地域の潜在的な力とか、魅力とかということをどういうふうに光を当てていこうか。また、町会をはじめ、地域活動をどうやって若者と一緒にやっていくことができるだろうかということが課題になってきたところでもあります。そういう経緯から、大阪公立大学の学生さんに来ていただいて、後ほどグループに分かれて意見交換をしていただくという企画が実現したという形になっています。

学生の皆さんは、今このように公的な感じの、堅い会議のように映ってしまうかもしれないんですけども、普段は委員の皆さんも、また役所の皆さんも人間味あふれる方々ばかりでして、前半はちょっと堅い会議をご覧いただいて、後半、意見交換のところはざっくばらんにグループの中で自由に発言いただけたらなと思いますので、よろしく願いいたします。

資料の確認をさせていただきたいと思います。事前に送付させていただいています資料の右上に、番号をつけています。①から⑧までございます。資料⑧ですが、12月7日開催の第3回区政会議で委員の皆様からいただいた意見やその対応、感想などを配付させていただいております。また、和田委員より、事前にご意見をいただいておりますので、追加資料として資料⑨をつけております。こちらは協議事項の際に区役所からご説明いただきます。次に、住吉区役所発行冊子表紙デザイン構想、資料番号はございませんが、机上にしております。資料の不足はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

本日、会議は20時30分までとなっています。後半、意見交換にしっかり時間が取れるようにと、せっかくこの機会ですのではと思っていますけれども、前半の会議の議題等も重要事項となっていますので、併せて円滑に議論を深めていきたいと思います。どうかご協力のほど、よろしくお願いいたします。

まずは、協議事項の令和6年度住吉区予算（案）についてです。和田委員から事前に意見をいただいておりますので、区役所より説明していただきます。説明後にご意見等を伺いたいと思います。

それでは、区役所から説明をお願いいたします。

【中野政策推進課長】 政策推進課の中野でございます。2件のうち、私からは区内の交通について、資料①、事前の意見の内容は、住吉区は交通の便がよいところもあるが、大和川沿いに住む高齢者にとっては交通の便が悪く、病院や買物等にも支障を来す状態であると。行事を地域で行っても参加することが難しい。高齢者見守り活動の訪問したときや報告会で声が上がります。人と人とのつながりや地域を活性するには、交通の便も1つの課題ではないでしょうかという意見。

本日の回答といたしまして、人と人とのつながりや地域の活性化にとって地域の交通利便性の向上は重要な要素であると認識しております。住吉区では、令和5年度第1回区民意識調査で、住吉区に住みたい、住み続けたい理由として交通機関の利便性が高いからと約8割の方が答えるなど、基本的に生活と移動面からの環境は良好であると考えられます。

しかしながら、区内の一部には公共交通利用が不便な地域も存在し、これまでもコミュニティバス等の運行も検討されましたが、利便性や収益性の面から導入には至りませんでした。

現在大阪市では、生野区、平野区、北区、福島区でA I オンデマンド交通の社会実験を実施しており、今後その結果等も注視し、利用率や収益性の面も考慮した運行の可能性等も含め、検討してまいります。

【福田保健子育て担当課長】 2点目ですけども、子ども食堂の関係の意見ですが、今、住吉区地域・子ども食堂連絡会が、毎年、住吉区に住む子どもたちのためにと映画会を行っています。今年で3回目を迎えます。続けることが住吉区の子どもたちにとっていつまでも印象に残ってもらえるよう、子ども食堂に関わる人が取り組んでいます。子ども食堂にも目を向けていただき、映画会だけでなく、ガレリア付近でもいろいろな催しができるよう行政の協力が必要です。個々に開催している住吉区の子ども食堂は、子どもたちの居場所としても子どもたちにも目を向けている。

回答でございます。これまでも住吉子ども映画会の開催につきまして、「広報すみよし」に記事を掲載するなどの広報協力を行ってまいりました。今後も引き続き子どもたちの居場所づくりのために連絡会と意見交換を行いながら協力してまいりたいと考えております。

【辻野議長】 ありがとうございます。

ただいまの説明につきまして、何かご意見や質問等、ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、協議事項について、区役所から説明をよろしくお願いいたします。

【田中総務課長】 総務課長の田中でございます。私のほうからは、令和6年度の住吉区の予算（案）につきまして、ご説明をさせていただきます。配付資料③をご覧くださいればと思います。

まず1の、予算編成にかかる考え方・全体予算の概要などがございますが、「すみよいまち“えーとこ住吉”」の実現に向け、住吉区将来ビジョン2028の4つの柱である、人がつながる、豊かな地域コミュニティの実現、多様性が尊重され、つながりの中で誰もが生きやすい社会の実現、未来を担う将来世代への支援、区政運営の充実、これらに基づき施策を進めてまいります。

次に、2の区長（区シティマネジャー）が関与する予算額でございますが、人件費を除きまして、総額で11億4,983万5,000円を計上しております。内訳といたしましては、区役所が自ら事業を実施するための経費である区長自由経費が5億2,927万4,000円、局が行う事業のうち、区長が区シティマネジャーとして決定権を持つ経費である区CM自由経費、こちらが6億2,056万1,000円となっております。

裏面に移りまして、3の重点的に取り組む事業といたしまして、5つの事業を記載させていただきます。

具体的には、地域コミュニティ支援事業といたしまして1,384万3,000円、小地域福祉計画策定に向けたアドバイザーの派遣事業といたしまして31万8,000円、災害に備えた自助・共助・公助の対策事業といたしまして832万5,000円、はぐあっぷ推進事業といたしまして1,325万3,000円、子ども・若者育成支援事業といたしまして583万6,000円をそれぞれ計上いたしております。

協議事項の1点目は、以上でございます。どうぞよろしく願いいたします。

【中野政策推進課長】 それでは、政策推進課長の中野でございます。引き続きまして、令和6年度区政会議の開催予定（案）について、説明させていただきます。資料④をご覧ください。

全体として令和6年度は、3回区政会議を開催させていただきたいと考えております。

まず第1回区政会議ですが、令和6年7月4日の木曜日の18時半を予定しております。こちらの内容についてですが、令和5年度の住吉区運営方針の振り返りについてご議論していただこうと考えております。

次に、第2回区政会議は、令和6年9月5日の木曜日の18時半から予定させていただきます。議題については、現時点では未定でございます。

次に、第3回区政会議ですが、令和7年1月9日木曜日の18時半からを予定させていただきます。内容は、令和7年度の運営方針（案）に対する委員の皆様のご意見を聴取させていただきますと考えております。

以上のスケジュールで進めさせていただきたいと考えておりまして、皆様方のご出席、会議へのご協力をよろしくお願いいたします。

2点目、以上でございます。

**【辻野議長】** それでは、今ご説明いただきました令和6年度住吉区予算（案）、令和6年度住吉区区政会議の開催予定（案）について、ご意見等ございませんでしょうか。いかがでしょうか。参観者が大勢いらっしゃるの、いつもいろいろご意見をいただいているんですけども、若干皆さん発言……。どうぞ、お願いします。

**【岩根委員】** ありがとうございます。岩根です。

ご説明ありがとうございます。配付資料③の裏面の重点的に取り組む事業のところ、はぐあっぷ推進事業が拡と書いてあるのは拡充されるということだと思うんですけど、私も子どもがいる母親で、とても子どものこと、子育て世帯に対してサービスといいますか、いろんな事業を拡充していただけるのはすごくありがたいことなんですけど、子どもはやっぱり減っていているとは思いますが、なぜ拡充をするということになったのかというのがお聞きできたらなと思いました。

あと、すみません、私、初めて、前回から公募委員で入っているのによく分からないんですが、概要と工夫点は書いてあっても具体的なことが前回と今年度との違いとかが分からなくて、あまり具体性がなくて分からなかったんですけど、それはこういうものなのかと思って捉えているんですけど、できたらはぐあっぷのところを、子育て世帯の気軽に相談できる場を拡充するという、拡充するに至ったのはなぜかなということ、具体的なことがありましたらお聞きできたらと思います。

**【仲間保健主幹】** ご質問ありがとうございます。保健福祉課保健主幹の仲間といいます。母子保健事業を担当しております。

ご質問の中身ですが、住吉区のほうでは毎年大体出生数が1,000人ぐらいの出生数があります。妊娠された場合、私どもの母子保健事業の窓口に来られて母子手帳のほうを交付しております。なので、そのときに全妊婦さんのご相談をその場で受けている。そこで一定保健師のほうでいろんなアセスメントをしているんですけど、大体全体の3割ぐらいの方が何らかのリスクを抱えていらっしゃるって、その後、保健師のほうでフォローするという

ふうになっております。過去5年間を見ると、ちょうどコロナのこともあったんですが、出生数は少しずつ減ってはきているんですが、相談件数というか、私どもが支援する割合というのは反対に少し増えてきているような状況ですので、やはりいろんな相談を多職種で受けていくということが必要だなということで、このはぐあっぷ事業を区独自でやっております。

今年が一番の拡充の内容のところは、今、子育てというのは母親のみとするものではないというところで、お母さんが孤立化しないためには、一番身近なパパさん、一緒に子育てをする方の協力が必要ということで、これも区独自で住吉区のほうはパパ講座という、初めての妊婦さんのパートナーの方ですね、その方々を対象に、マザークラスのパパ版、母親教室のパパ版を住吉区のほうで休日を利用してやっているんですが、そのパパ講座の中で皆さん方、非常に赤ちゃんが生まれてからもこういった教室があったらうれしいなというアンケートの声がありましたので、パパ講座の同窓会というところで、赤ちゃんが生まれてからパパさんと、お父さんの初めてののお出かけの教室をしようかなと思っていました、そのあたりの予算のほうを増やしております。

以上です。

**【岩根委員】** ありがとうございます。すごく取り組みをされているのが分かってよかったです。ありがとうございます。

**【辻野議長】** ほか、いかがでしょうか。

**【榊野委員】** 公募委員の榊野です。

この予算の、先ほどのご説明ですと、住吉区の関連予算、人件費を除いて11億4,900万ということで、その裏側に重点的などころが書いてあると思うんですが、重点事項の予算額、全部ざっと足してみますと1億8,000万ぐらいになると思います。ですので、金額にかなり乖離があるんですけども、重点予算以外に大きなところというのが分かりましたらお願いします。

**【田中総務課長】** 総務課長の田中ですけども、重点予算ということでこの5つの事業を挙げさせていただいていますけども、そのほかのところでは金額の高いところと申しますのは、主には区役所の庁舎の維持管理の部分ですね。そういったところでいろんな設備のメンテをしたりとか、かなり老朽化しているところもありますので、これは区役所だけではなくて区民センターも含めてなんですけども、そういったところの改修工事も順次やっているというところで、そういったところの予算がかなり大きな割合になってきておりま



す。

【梶野委員】 ちよつと合計してざつと見ていると1億8,000万だったので、あまりにも差が大きかったものですからちよつと聞きました。

【辻野議長】 ほか、いかがでしょうか。

【山本委員】 公募委員の山本です。

1点だけ、すみません。重点的に取り組む事業の地域コミュニティ支援事業の概要の中の間支援組織を活用した支援とありますが、この中間支援組織はどういったものになるのか、もし今決まっていることがあれば教えていただければと思います。

【小林地域課長】 地域課長の小林です。

中間支援組織というものは、今、まちづくりセンターと言われているものでございまして、住吉区役所の地域課に職員3名が配備されまして、地域活動協議会の自立を図っていくという意味で、様々な地域の実情に応じた支援をさせていただいております。

主に地域が弱い部分、会計の面であったり、広報の面であったり、そういうところを重点的に支援させていただいている組織でございます。よろしく申し上げます。

【山本委員】 ありがとうございます。

【辻野議長】 ほか、いかがでしょうか。

そうしましたら、一旦ここで先に進めさせていただいて、また後ほど協議を、意見等の時間を取りたいと思います。

報告事項について、区役所から説明をお願いいたします。

【山田教育文化課長】 教育文化課長の山田でございます。私から報告事項1点目、令和5年度第2回住吉区総合教育会議について、報告をさせていただきます。配付資料⑤をご覧ください。

令和5年12月18日に行いました住吉区総合教育会議でございますが、4の議題のところをご覧ください。

(1) 令和5年度住吉区における主な教育・子育て関連事業といたしまして、令和5年度の実施状況並びに令和6年度の方向性につきまして、ご説明をさせていただき、委員から意見を聴取いたしました。

(2) 情報提供でございますが、住吉区内の中学生を対象に、子どもの自主学習習慣の定着及び習熟に応じた基礎学力の向上をめざして、放課後の学校施設を活用し課外学習を行っております、すみよし学習クラブについてのご説明をさせていただきました。

令和6年度より住吉区内の中学生だけでなく、小学生にも同様の学校施設を活用した塾を開設いたしますので、その旨も併せてお伝えをさせていただきました。

また、同じく情報提供といたしまして、学びの多様化学校が市の教育委員会によって設立されることになっておりまして、不登校特例校、心和中学校という名称で浪速区に開設がされます。その旨のご説明をさせていただいております。

また、学校の適正配置ということで、子どもの教育環境の改善をめざしまして学校配置の適正化の取り組みがなされている旨、お伝えをさせていただきました。

併せてヤングケアラーの取り組みにつきまして、現在の状況につきましての新たな情報提供を行いました。

以上でございます。

**【中野政策推進課長】** 政策推進課長の中野です。私から、報告事項2点目、住吉区将来ビジョン2028（案）にかかるパブリック・コメントの結果及び住吉区将来ビジョン2028策定についてを報告させていただきます。配付資料⑥-1と⑥-2をご覧ください。

まず、資料⑥-1についてですが、パブリック・コメントの実施結果についてでございます。令和5年12月11日から令和6年1月10日までの1か月間を受付期間としまして、受付通数24通で、総数47件のご意見を30代から80代までの幅広い年代の方々からいただきました。なお、ビジョンの内容は、めざす将来像とその実現に向けた施策の方向性を示すものですが、いただきましたご意見は具体的な施策や事業へのご意見などが多くございました。

お寄せいただきましたご意見の趣旨と住吉区の考え方については、別とじの資料にまとめさせていただいております。資料は、いただきましたご意見をビジョン全体に関わるものと4つの柱と施策の方向性ごとに分類し、ビジョンの構成に沿う形で区の考え方をまとめさせていただきました。なお、いただいたご意見の内容につきましては、その趣旨を踏まえて要約をしております。また、ご意見以外の情報提供などについては、掲載を省略させていただきました。

次に、資料⑥-2は、この間、委員の皆様方にご議論もいただきながらつくってきました住吉区将来ビジョン2028でございます。前回の区政会議でお示しをさせていただき、パブリック・コメントも実施した上で、一部表現の統一など、軽微な文言修正等を加え、また、表紙のデザインも入ったビジョンの策定と、このパブコメの結果について、2月28日に公表いたしました。

本日は、このビジョンの表紙をデザインいただいた大阪市立大学学生の岸本さんにも参加していただいております。この後、表紙デザインに係るコンセプト等についてプレゼンをいただく予定でございます。

今回、策定いたしました将来ビジョンは、今後5年間の区のめざす将来像、その将来像の実現に向けた施策展開の方向性を取りまとめたものでございます。パブリック・コメントでは、施策の具体性等についてのご意見を多数いただきましたが、具体的な施策についてはビジョンの単年度ごとのアクションプランである住吉区運営方針を毎年度策定し、また区政会議で委員の皆様にもご議論いただきながら、その計画、実行、評価を行っていきたいと考えておりますので、引き続きご協力をいただきますよう、お願いいたします。

簡単ですが、以上です。

**【辻野議長】** ありがとうございます。

それでは、先ほどの令和5年度第2回住吉区総合教育会議についてと、今ほどの住吉区将来ビジョン2028（案）にかかるパブリック・コメントの結果、及び住吉区将来ビジョン2028策定について、この以上2件について、何かご意見等ございませんでしょうか。よろしいですか。将来ビジョンのほうはかなり議論を重ねてきたところではあるわけですが、最後に確認しておくことがありましたら、遠慮なくお願いします。また、総合教育会議に関しましても同様です。よろしいですかね。

そしたら、一旦先に進めさせていただきたいと思います。

それでは、報告事項3点目、住吉区将来ビジョン2028表紙について、大阪市立大学文学部4年生の岸本渚さんから報告していただきます。配付資料⑥-2表紙、本日配付しました住吉区役所発行冊子 表紙デザイン構想をご覧ください。

岸本さん、よろしく願いいたします。

ちょっと準備いただいている間になんですけれども、前半の議論はタイトに、円滑な進行にご配慮いただいているものと思うんですが、議が尽くせない、時間の関係上と考えていらっしゃる方がいらっしゃいましたら、毎回会議が終わった後も意見の受付をしてくださっているので、いろんな形でお寄せいただいたらと思いますので、よろしく願いします。

では、準備ができましたでしょうか。岸本さん、よろしく願いいたします。

**【岸本】** ご紹介にあずかりました大阪市立大学文学部4回生の岸本です。

私は、文化資源コースというコースを専攻しているんですけど、デザインに興味・関心

があって、来年からは大学院に進学してデザインだったり、人間工学だったりの研究をやりたいと考えています。今回は、私が所属しているゼミの担当教員のほうに住吉区役所の方から表紙デザイン作成のお話が来まして、デザインに関心がある私に任せていただくという形になりました。

それでは、今から表紙のコンセプトについてご説明したいと思います。

私は、大学に通うために毎日住吉区に来ているんですけど、なのに、住吉区のことをほとんど知らないということに気づいたので、このお話を受けてすぐに、取りあえず住吉区のことをもっとよく知ろうと思って、住吉区のまち歩きをしてみました。有名な住吉大社を見学して、そこが昔話の一寸法師の発祥の地であるということを知ったり、住吉区の皆様の足になっている路面電車に実際に乗ってみたりしました。

粉浜商店街をうろうろして、コロッケを食べて、住吉公園を散歩したりしているうちに、いつの間にか住吉区じゃなくて住之江区に来ていたりとか、いろいろ面白い発見もあったんですけど、特に細江川の一部が災害時に避難路に通じる防災緑道のせせらぎとして残されていて、子どもたちの遊び場だったり、地域の憩いの場となっていたことが印象に残りました。

住吉区将来ビジョン2028の表紙を作成するに当たって、まずターゲットは現在住吉区に住んでいる方々、そして、その中でも特に若い世代の方々として、目的としては、これからも住吉区に住み続けたいと思ってもらうこと、そして、今回、住吉区が新しく設定する住吉区将来ビジョン2028の内容について、区民の方々によく知ってもらうこと、そして、特に未来を担っていく若い世代の方々への積極的な支援をアピールすることとしました。

住吉区役所の方々から事前に頂いた資料によると、現在、住吉区から引っ越したいと考えている人たちが一定数いらっしゃる、その理由として挙げられているのが、防災・防犯面での不安、次に地域でのつながりということでした。さらに、大阪市立大学の大学院生らが発表した論文、「市民の防災意識と防災行動に関する地域比較分析」という論文によると、住吉区民の方々が心配されている災害には、地震と豪雨と河川の氾濫というものがありました。豪雨と河川の氾濫に関しては、大和川が近くに通っているためであると考察されていて、ほかの地域よりも関心が非常に高いという結果になっていました。

これらの課題を踏まえて、住吉区がこれから取り組んでいくべき施策として、安心・安全で心地よく住めるまちというのを掲げていることもあって、それとキャッチフレーズの「すみよいまち“えーとこ住吉”」にもあるように、住吉区の住みやすさをアピールしてい

きたいと考えました。

表紙に入れたいと考えていた要素としては、一寸法師とせせらぎと防犯灯の3点です。一寸法師は、これからの住吉区を担っていく子どもたちを表していて、せせらぎは、冒頭でも少し触れたんですけど、災害時の防災緑道にもなるということで、防災を象徴しています。また、住吉区のホームページによると、防災・防犯面での住吉区の町会の取り組みとして、あまり知られていないとこの前聞いたんですけど、防犯灯や防犯カメラの維持管理などが挙げられていました。夕方暗くなっても子どもたちが安心して川で遊んだり、家に帰ったりできるような地域であるということアピールしたいと思って、この3つの要素を考えました。

これらの要素を取り入れたラフ案がこのようになっている、左側が一寸法師が乗っている船であるお椀の中にせせらぎの小川をミニチュアサイズで再現したジオラマを作るというイメージのイラストで、右側が、それを写真素材で表現したイメージ画像になっています。

完成版としてはこのようになっている、お椀の中に虫取り網だったり、帽子だったり、虫かご、サンダルなどを配置して、せせらぎで川遊びをする様子を表しています。手前のほうに見えるのは、住吉区の区の花であるカキツバタで、足場の下の方にちょっと小さくて見えにくいんですけど、幼稚園などの情操教育にも使われていそうなザリガニを配置したりしています。

以上のように、これからの住吉区を担っていく子どもたちや、子育て世代の方々を含む全ての区民の方々が安心して暮らせるような住みよいまちをめざすというコンセプトで住吉区将来ビジョン2028の表紙を作成させていただきました。

この表紙をきっかけにして、住吉区の将来ビジョンの中身にも関心を持っていただけたらうれしいです。

これで報告を終わります。ご清聴、ありがとうございました。

**【辻野議長】** どうもありがとうございました。

何か今ほどのご説明について、感想、質問等ございませんでしょうか。

お願いします。

**【山本委員】** すみません、私ばかりしゃべって。山本です。

まず、どうしても行政ってこういう定性的なこととか、定量的なことはやりやすいと思うんですけど、定性的なことをやるのはすごい勇気が要るのかなと思ったので、こう

いった若い方のデザインを長く見られるビジョンに採用していただいたというのはすごいいいまちだと思いました。ありがとうございます。

こちら、デザインされた理由というのが初めて分かったので、このデザインを見て、多分表紙を見た方が、何でこういうデザインなんやろうということで、住吉にきっと興味を持ってくれるんじゃないかなと思って、すごくいいデザインだなと僕は思っています。

ただ、まちづくりも一緒かもしれないんですけど、2割ぐらいの人が賛成してくれて、あとの人ってやんわり、別に無関心で、あと2割ぐらいは何をやっても文句を言うみたいな人も絶対いるので、いろんなことを思う方もいると思いますが、このデザインの理由がよく分かったので、すごくいいデザインだと思ったので、これからも頑張ってくださいと思いました。どのポジションで言っているんだという話だと思うんですけど、そう思ったので。いいデザインだと思います。ありがとうございます。

【岸本】 ありがとうございます。

【辻野議長】 ほか、いかがでしょうか。かなりの力作だということがプレゼンで分かったと思いますので、感想など、もう一方か、もう二方、いかがですか。

【仲本委員】 荻田の地域活動協議会の仲本です。

せっかくこういういいデザインをやっていただいたんですから、これ、ビジョンとしてこれから5年間使っていくわけですけど、もう少し説明をうまく、これだけを見て、案外今の説明を理解できるところまでなかなかいかないと思うので、うまくPRしていただいたら、このデザインのよさが分かると思うんですけど。だから、このデザインのよさをもうちょっとブレイクダウンして説明していくとか、PRしていただいたら、もっとこれが皆さんに理解していただけるかなと。ちょっと感想ですけど、すみません。

【辻野議長】 ありがとうございます。

【福留委員】 このたびはデザイン、ありがとうございました。

私、初め見たとき、何かおいしそうなものが入っているのかなと思っていたら、そうじゃなくて、これは一寸法師のお椀だということがやっと分かったみたいな、そんな状況だったので、私たちもちゃんとこの委員をしている限りは、皆さんに分かるように説明していくような形で盛り上げられたらいいなと思いました。やっぱり若い力、あ、そういう意味だったんだなというのがみんなの中で落ちるような形で、自分の感じたことを、私もそう思ったから入ってもいいかなと思いながら。でも、これ、ちゃんとせせらぎがあって、ここにはねという説明が、これ、安全・安心のまちに通ずる道なんだよと言えたらいいな

と思ったので、とてもいいプレゼンをしてもらったなと思いました。ありがとうございます。

【岸本】 ありがとうございます。

【齋木委員】 ありがとうございます。ラフからのこの仕上がりがすごい、さすが専門に勉強しているんだなと思って、すごいと思いました。

虫取り網とか麦わら帽子とかは子どもの象徴みたいな感じに入っているという感じですか。

【岸本】 そうですね。自分も結構小さいときに、お兄ちゃんとその辺で遊んだりしてたときに何を持ってたかなとかを思い出して、これを見たら子どもはいなくても何となく子どもの遊んでいる風景かなというのが想像できるように作りました。

【齋木委員】 なるほど。ありがとうございます。

【辻野議長】 ほか、よろしいでしょうか。

そうしましたら、岸本さん、本当にありがとうございました。最初、まち歩きから、フィールドワークから始められたということで、ゼロから立ち上げていってこういうふうになっていったという。補足しておきますと、下案とかラフ案とか、我々は目にする機会は今までありまして、本日ご本人から初めて直接お話を伺っているので、インパクトが全然違うわけですね。どういう思いが込められているのかとか、どういう理由があったのかというのがとてもよく分かったんじゃないかなと思います。

なので、先ほど出された意見ですね、ぜひこれをどういう思いでこのイラストに至ったのかということが、ここに込められている地域社会の魅力とか、あるいは将来の願いということがたくさん込められていることが分かりましたので、単に作ってアピールをしなければやっぱり伝わりにくいと思いますので、ご意見をいただいたように、この案を大事にして、アピールをしっかりしていきたいと思います。アピールしていくことで地域の在り方を考える機会になっていくようなデザインなのかなと思いましたので、本当にありがとうございます。

将来ビジョン（案）の裏表紙というか、表紙をめくったところに岸本さんのご説明が書かれているので、お手元の資料であるかなと思います。これがそのように実際に挿入されていくんだと思いますので、間違いありません。ということで、お願いいたします。

それでは、表紙の作成にご尽力いただきましたことについて、区役所から感謝状が贈呈されるということです。区役所からお願いいたします。

【平澤区長】 岸本さん、本当にありがとうございました。岸本さん、ビジョンの中身を的確に読み取っていただいて、自らまち歩きもしていただいて、本当にビジョンを体現するような表紙を作っていただきまして、本当にありがとうございました。

では、感謝状のほうをお渡ししたいと思います。感謝状。大阪市立大学文学部、岸本渚殿。あなたは住吉区将来ビジョンの策定に当たり、住吉区の特徴をよく理解し、豊かな歴史・文化の活用や、防災・防犯面で安心・安全な住みよいまち住吉のこれからの方向性を表現したすばらしい表紙デザインを作成し、区政の推進に貢献されました。その熱意と功績をたたえ、深く感謝の意を表します。令和6年3月7日。住吉区長、平澤宏子。ありがとうございました。おめでとうございます。

【岸本】 ありがとうございます。

【辻野議長】 写真撮影が入るそうです。強制じゃないので、よければということ。どちらでもいいです。

岸本さん、ありがとうございました。

それでは、委員の皆さん、ここから意見交換の場に入っていきます。

まず、学生の皆さん、区役所職員の皆さんはグループの席へ移動をお願いいたします。各グループには、あらかじめ割り振りさせていただいた学生の皆さん、区政会議委員の皆さん、区役所職員の3名の皆さんに入らせていただいています。ちょっと時間を取りますね、移動時間。学生の皆さん、移動してください。

【北野（司会）】 ここで小寺委員がお越しになられましたので、ご紹介のほうをさせていただきます。

前回の第3回区政会議では欠席となり、ご紹介できておりませんでしたので、改めてご紹介のほうをさせていただきます。

令和5年10月1日付で住吉区子ども会育成連合協議会の南委員に代わり、区政会議委員にご就任いただきました小寺委員です。

【小寺委員】 はじめまして。子ども会育成連合協議会で体育部長をやっております小寺です。どうぞよろしく願いいたします。

【北野（司会）】 ありがとうございました。

【辻野議長】 それでは、ここから意見交換、グループに分かれてということになります。各グループの進行役となるファシリテーター役と書記役、発表役は、委員の方はご存じのとおりなんですけども、今回も区役所の職員の皆さんをお願いしているところです。



また、机の配置がいつもとちょっと違う形になって、舟形になっているんですけども、これはなるべく顔がお互いに見やすいようにという形で角度をつけていただいて、区役所の皆さんの工夫でやっていただきました。ありがとうございました。

学生の皆さんは、先ほど申しあげたんですけども、とても堅い前半の会議だったかもしれませんが、安心していただいて、自由闊達な意見交換をしていただけたらと思います。岸本さんの先ほどのプレゼンを見て、我々委員のほうは逆に緊張しているかもしれません。大学生の意見というのはこんなにすごいのかと思っているかもしれませんが、お互いにざっくばらんということでもよろしく願います。

それでは、意見交換に当たりまして、区役所から簡単に説明をお願いいたします。

【中野政策推進課長】 政策推進課の中野です。

皆さんに意見交換していただく内容について、ご説明いたします。配付資料⑦をご覧ください。お持ちですかね。

グループディスカッションは、「これからの地域活動について」をテーマに意見交換をいただきます。配付している資料ですが、意見交換を行うに当たって今回参加していただいている学生さんに、事前に昨年の第1回区民意識調査の結果も見てもらった上で、地域活動へのイメージや思っていること、改善につながりそうなアイデア等について事前にアンケートをさせていただいたものを中段にまとめております。

少し中身を紹介させていただきますと、地域活動へのイメージについては、趣味のほうが好きとか、同年代の参加者が少なそうなど、ご自身の参加に対して思うことや、会議などの出席や役員の仕事が重荷であるや、PTAや地域の役員を面倒に思っている親の姿を見て、よいイメージが持てないなどといった、地域活動を担う方々のしんどさなども意見として挙げています。

また、改善につながりそうなアイデアについては、普段できない体験や新しい知識が得られる行事や、初めて町会を知った、初めて活動に参加する人を集めた顔合わせイベントなどといった意見もごございます。

グループディスカッションでは、学生さんたちの事前意見も参考にしながら、より多くの区民の方に参加してもらえるような地域活動について、皆さんでアイデアを出し合っていただきたいと思います。

なお、意見交換の際は、実現可能性とかはちょっと置いておいてもらって、自由な発想でアイデアを出していただければと思います。

討議を始めるに当たって、学生の皆さんも緊張もされていることだと思いますので、グループの中で最初のアイスブレイクも兼ねて自己紹介をしてもらってから進めていただければと思います。

では、よろしくお願いいたします。

【北野（司会）】 それでは、これより8時まで意見交換を行っていただきます。なお、終了5分前になりましたら、私のほうからアナウンスさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、始めてください。

(グループディスカッション)

【北野（司会）】 大変申し訳ございません。時間となりましたので、意見交換は終了とさせていただきます。

それでは、会議のほうを進めさせていただきますので、議長、副議長、職員と学生の皆さんは、元の席のほうへお戻りください。学生の皆さんも元の席のほうへお戻りください。皆さんありがとうございました。

それでは、辻野議長、議事の進行のほう、よろしくお願いいたしますと思います。

【辻野議長】 皆さん、グループワーク、ありがとうございました。恐らく全員感じているのは、時間が短すぎるじゃないかと。しゃべりたいことはいっぱいあるんだということだと思うんですね。今回初めての企画なので、これをキックオフという形にして、ぜひ今後につなげていきたいと思いますが、まずは各グループでお話いただいた内容を全体でも共有したいなと思いますので、ちょっと限られていますけれども、発表役の職員の方、ご報告をお願いできますでしょうか。Aグループ、Bグループ、Cグループの順番でお願いします。

【柴田保険年金課長】 それでは、私、Aグループのほうで参加させていただきました保険年金課長の柴田といいます。私のほうからAグループで意見交換をした内容について、報告のほうをさせていただきます。

主立った意見としまして、前半、情報発信の話がありました。後半は、いかにして参加しているようなイベントになっていくかというような感じの話をしておりまして、若い方のほう、今回参加いただきました学生さんのご意見を中心に聞きながら意見交換していく

というような感じで進めさせていただきまして、ご意見としていただいたのは、役所の広報紙もしかりですし、地域で出ているコミュニティ紙なんかもあると思うんですけども、若い方はそういった紙のものを見るよりは、最近でしたらSNS、インスタであるとか、今はXと言いますが、旧ツイッターとか、そういったものを見ているので、そういったものを使った広報に力を入れたらいいのではないかというご意見をいただきましたけども、既に地域の方、皆さん、インスタとか、SNSですね、既に取り組んでいるところではあるんですけども、なかなか写真はアップできても動画はアップが難しいとか、あるいは、いわゆるバズるための面白動画ですね。そういったやつを撮りたいんだけど、それがうまくできないというところで、若い方たちに一遍作るのを協力してほしいというようにお話が出ておりました。

先ほど紙の媒体はあまり若い人は見ないという話もあったんですけども、一方で、商店街さんが作っているチラシは結構興味があるということで、商店街のほうもどうしても作られるチラシが今までいろいろ工夫は凝らしているんですけども、マンネリというか、似通ったものばかりになるということもあって、今回お話を聞いていると、学生さんの中でそういったチラシのデザインに興味を持ってやってみたいという方もいらっしゃるということが出ましたので、ぜひともそういった方たちとのつながりを持ちたいということをおっしゃっていました。

あと、後半のほうでのイベント関係の話でいくと、若い方でもお祭りであるとか、地域の運動会というのには興味があると、参加しやすいのではないかと思うと。ただ、やはりやるとなるとどうしても費用がかかると。その中で多くを占めるのが人件費であるというところで、ここの部分もできれば若い方たちにボランティア的に参加していただければありがたいというところで、今回の交流をきっかけに、そういった人たちとの交流をやりたい人、やってほしい人、そういった人たちの、いわゆるマッチングができるような場、機会があれば、今後の地域の発展につながっていくのかなというところのお話がありました。

あと、地域の、今日もそうなんですけれども、こういった会合であるとか、そういった場に参加するのはやはりハードルが高く感じて、これをいかに下げただけで若い人たちも参加しやすくなるのではないかなというようにお話をいただきました。

以上です。

**【稲岡生活支援課長】**　　続きまして、Bグループの報告、生活支援課長の稲岡でございます。Bグループで意見交換した内容のほうを報告させていただきます。

先ほどのAグループと同じく、最初、まず学生さん、若い方の意見を聞いていきましょうというところから始まったんですけども、自己紹介を兼ねて地域活動のイメージの色ということで皆さんに聞かせていただいております。いろいろ薄い黄色でありますとか、オレンジであったり、紺であったり、本当に人によっていろんな色といいますか、イメージの捉え方が違うんだなということが分かりました。

まず、イメージのところなんですけれども、やはり若い方のご意見の中では、大変そうであるとか、ではあるけれども、やれば楽しいんじゃないかと。一步踏み出すところがまずはきっかけというか、大切なんじゃないのかなというようなご意見をいただいております。

やはり地域の会長さんのほうから、新聞の、二十歳の町会長が誕生していますというような記事も見せていただいたんですけども、そういった若い方をどうやって地域の活動に入ってもらえるか。やはりイメージというのは大事なのかな。実際どういったことをやっていくのを知っていただくということが大切なんじゃないかというようなところから話を始めさせていただいております。

続いて、どんな地域活動があるといいのかなというところですけども、やはり誰でも参加できるイベント、これはみんな協力できるイベントですね。そういったものがあればいいのではないかと。それと、若い方のほうからは、ここでしかできない行事があればいいのではないかとということのご意見もございました。あと、学校を巻き込んでということもありますけども、子どもが媒体となるイベント、そういったところが大切ではないかなということのご意見もいただいております。

あと、やはりイベントの企画の段階、その企画の段階から学生に入ってもらって、こういったところが若い方、特に子どもも含めて喜ぶポイントになるのではないのかなというようなことで、そういったご意見もいただいております。

様々なポイントがあったんですけども、やはり秘訣というのも幾つかあるというところで、まずはマーケティングというところで行くと、どういう人に来てもらいたいかな。あと、意見を取り入れることから始める必要もありますよねと。当然、そういったほかのいろんな活動、外部での成功例を参考にするというところも大事ではないかということもいただいております。

あと、何かいいアイデアがないかということも引き続き聞かせていただいておりますけども、なかなか人材不足が課題ですよと。そこは学生さんも含めて、今後いろんな、巻き

込む取り組みの仕組みが必要ではないかと。SNSの活用も大事ではないかということでもございました。

最後に、まとめといますか、やはりオープンにしていくこと、オープン自治会のようなことが、特にワークショップを学生さんとコラボしてできたらいいのではないかとこのころでした。やはりまずやってみないと分からない、やってみようというところから始めてはどうかというところで、一旦まとめという形になりました。

以上でございます。

**【田中総務課長】** 総務課長の田中です。私のほうからCグループの発表ということでやらせていただきます。

まず、Cグループでは、最初に学生さんからの意見ということでいろいろ出していただいたものを受けて、まずは委員の皆様から一言ずつお話をいただきました。そこで出てきたお話としては、地域活動協議会としていろんな行事をやっていますけれども、なかなか学生さんとの接点、会う機会もなかなかないなというところとか、そういったこともあるので町会としてもいろんな世代が参加できるような行事を企画したいなと思ってるということ、あと、いろんな商店街、あるいはまちなかでも、公立大学の学生は6,000人ほどいらっしゃるんですけども、なかなか学生さんを見ることはないなということで、それに対して学生さんに聞くと、やっぱり飲みに行ったりするとなったら、天王寺へ出ることが多いですよというようなことも言っておられたんですけども、なかなかまちで見かけないということと、やはり地域活動をやるに当たって、コロナ禍の3年間のギャップが非常に大きいなということで、行事が3年ほど中止になってしまうと、なかなか復活させることが非常に難しいというようなことでありますとか、逆に、3年間止まっていたことが別に不都合ではなくて、今、大人の方でも自分の趣味のほうに行かれたり、そういった方もいらっしゃるってなかなか難しいなというところを言われています。

その後、そういったご意見を受けて、学生さんからまた一言ずつ話をさせていただいたんですけども、去年、すみ博のボランティアに参加された学生さんがいらっしゃいまして、これは大学のボランティアセンターから紹介されたと思うんですけども、6人ほどで参加したということで、6人ということで、これだけの人間が参加するんだと思いながら、参加しましたということで、やっぱり広報をすること、学生に対して広報をすることが大切じゃないですかということで、例えばそういった地域の行事、あるいはイベントなんかを大学の構内にポスターを貼ったり、そんなことをしてもいいんじゃないですかということ

と、やっぱりイベントが好きな学生さんが多いので、ただ単に一参加者として来ていただくことだけではなくて、イベントの1つのブースを若い学生さんに任せてしまうというようなところで、同世代の仲間と一緒に参加できるような機会があればいいようなことも言われておりました。

先ほど6,000人の学生ということでは言わせていただきましたけども、皆さん、実家から通われている方、あるいは下宿されている方、まあまあ、いろいろで、実家から通われている方は、我々サラリーマンと同じで、本当に行って帰るだけというような学生さんが多いということでもありますし、住吉区内に下宿をされてても、4年後にはまた違うところに行くと、そういったゴールが見えている中でなかなか住吉区に愛着を持つことが難しいなということもおっしゃっていました。

あと、皆さん、つながりを否定しているわけではなくて、どこかでつながりたいという思いがあって、飲むのが好きな学生さんは、我孫子の商店街の立ち飲み屋さんなんかの前で、中、楽しそうだと思われるんですけど、なかなか敷居が高くて入りづらいということ、例えば、今食ベログとか、いろいろありますけども、地元の人に、ここの食堂はおいしいですよというようなことを教えてもらえるような機会があって、またそこで学生割引みたいなものをしてもらったら、学生さんは参加するんじゃないかと。やっぱり参加することによってまた次につながるきっかけになるんじゃないかというような意見も学生さんからいただきました。

最後にいろいろフリートークをさせていただいたんですけども、今日は大学の学生さんということだったんですけども、先ほども言いましたように、いろんなところから来られているということでもありますので、もっと住吉区に近い中学生、高校生、そういったところから、特に今、防災というところで、いざとなったら隣近所で助け合わないといけないというような事態もあるんですけども、そういったところでお互いさまだという意識を中学生の段階から教育するようなことも必要じゃないかと。今は本当に隣に誰が住んでいるのかも分からないというようなことも多いと思いますし、そういった教育も必要じゃないかということはありません。

あと、地域の行事というのもぜひ大学のほうにも宣伝させていただいて、ボランティアも募りたいなというようなご意見もありましたし、逆に、大学のほうで住吉とはこんなまちだということを知っていただけるような機会を大学としてもつくっていただきたいなというようなご意見もありました。

以上でございます。

【辻野議長】 ありがとうございます。

わずか30分たかだかの意見交換だったんですけれども、これほどのアイデアが出てきて、恐らく交流、出会いがあったというのが今回の最大のポイントだったと思うので、もう少し交流が深まれば深まるほど、いろいろ、例えば区政に対する理解も深まりますし、学生の実感としてもいろんな意見が、アイデアが活かされていったりということも生まれてくるのかなと思いましたので、まずは出会いの機会を大事にしたいと考えております。大学にもたくさんのリクエストもいただいたと認識していますので、せっかくなので、今日も傍聴者の方も忙しい中来てくださったり、市会から議員の方、忙しい中来てくださったりとか、いろんな方がここに集まっているんですね。なので、こういう公的な場だと、どうしても発言者、発言の時間が限られてしまうんですけども、たまには大学で懇親会をするのもいいのかなとか、いろんなことを考えさせられまして。ただ、あまりそんなことを公的な場で発言すると、今の私の発言も録画されて、配信されて、大学の教授がこんなことを言ったとたたかれたりするかもしれないんですが、パブリックな場とプライベートな場、職員さんも普段言いたいことがあるけど言えないんだというのがあると思うんですね。皆さんもそうだと思うので、自由で開かれた場ということが大学の魅力だと思いますので、決してこれ、大阪公立大学でアピールする必要は全くなくて、ここに住んでいるほかの学生さんがいっぱいいるわけですし、住吉区に。ぜひそういう人たちも立場を越えて交流していくというのが最大の魅力になっていくのかなと思います。地域に根差して、また、学生さんもそれぞれ研究テーマを持って、関心を持ってやっていらっしゃる方が多いというか、ばかりですので、そういった知見も一緒に交流していくと、より深い議論、またそれが政策提言につながったりとか、いろんな機会になるのかなと、自分も大学の教員として新たに責任を感じる機会になりました。

それでは、お時間は間もなく迫っているんですけども、本日の区政会議全体に対して、前半の議論も、また後半の意見交換も含めて、皆さんから意見とか、ご発言、いかがでしょうか。これは参加している学生の皆さんも遠慮なく、最後、よかったら発言いただけたらと思います。委員の皆さん、学生の皆さん、いかがでしょうか。

皆さん、時間を気にされて、発言したいことがあるのに遠慮されているのかなと思います。皆さん、お一人、お二方、いかがですか、遠慮なく。

【堀】 本日はありがとうございます。

私は理学部の化学科で研究室にこもっていることが多いので、あまり地域とのつながりとか、人のつながりというのを考える機会がないので、今回こういう議会に参加することで、地域の商店街の方であったり、役所の方々と交流することができて、改めて地域のつながりの大切さであったり、子どもたちへの教育の大切さというのを考えることができました。こういう機会がもっと、大学生に限らずですけども、多くの方に提供されれば、豊かになっていくのかなと思ったので、今後、こういう機会があったら参加したいなと思いました。ありがとうございました。

【辻野議長】       ありがとうございました。

それでは、よろしいでしょうか。お時間になりましたので、今回、大学生ということだったんですけども、意見にも出ていたんですが、大学生に限定する必要もないんじゃないかと。高校生とか中学生、小学生、いろんな方がおられます。PTAの方ですね。いろんな方と交流する機会が生まれたらよいなと願っています。

それでは、本日の議案は全て終了しました。

その他事項に入りたいと思いますので、区役所より説明をお願いいたします。

【北野（司会）】       辻野議長、ありがとうございました。

それでは、次第の6番目のほうにありますその他の事項につきまして、私のほうからご説明させていただきます。

今後の各会議の開催日程ですが、令和5年度第3回住吉区総合教育会議は3月26日火曜日に開催予定となっております。

以上でございます。

それでは、ここで本日ご出席いただいております議員の皆様より、一言お願いしたいと思っております。

まず、上田議員、よろしく申し上げます。

【上田議員】       どうも皆さん、こんばんは。大阪市会議員の上田でございます。

委員の皆さんには、日頃より区政に対してご尽力賜り、誠にありがとうございます。本日、私も参加させていただいて、今日は学生さんとの交流会、異世代交流ということで、私はAグループに参加させていただきました。私も地域では地域活動をさせていただいているんですけども、やはり皆さん、私も思うことは一緒なんですけれども、やはり若い世代にもうちちょっと盛り上げていただきたいというので、本当に学生さんを集中攻撃していたので、地域活動というのは本当に大切だと思っております。地域活動が底になって住吉



区も豊かに人のつながりもできてくるのではないかと思いますので、ぜひとも皆さん、私も今日聞いてて、やっぱりキーワードは人とのつながりだと思います。今日もきっかけがあり、学生さんが参加していただいた。その中でつながりが今日できたと思いますので、やはり人のつながりを大切に、住吉区将来ビジョンに対しても、これからも皆さんのご協力、そして、我々もこの区をよくするように、これからも議論を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。

【北野（司会）】 伊藤議員、よろしくお願いいたします。

【伊藤議員】 こんばんは。

今日来るまで知らなくて、来たら、若い方がいっぱいいらっしゃって本当にびっくりしたんですけど、具体的に私、Cグループをたくさん聞かせていただいたんですけど、本当に学生の意見が新鮮で、面白いなと思いました。特に、先ほど我孫子商店街の飲み屋がちょっと敷居が高いとおっしゃってる方がいて、学生が飲む場所にあまり見かけないという大人の声もあって、今日この帰りに一緒に飲みに行こうかと、なかなかかなりにくいと思うんですけど、これを継続してやっていったら、3回目ぐらいで「帰り、行こか」となるかもしれないなど、本当にすばらしいなと今日思って見ておりました。ぜひこの機会を継続して続けていっていただきたいなと思います。

今日はありがとうございました。

【北野（司会）】 くぼた議員、よろしくお願いいたします。

【くぼた議員】 お疲れさまでございます。新人のくぼた亮でございます。

僕自身、生まれ育ち、ここ、住吉なんですけども、大学生のとき、大学は関西大学なので吹田のほうにあったんですけども、学生時代は枚方市と吹田市のほうで学校とか地域で、たまたまご縁があったので、月一ずつと通ったりとか、中学生にディスカッションしたりということをも今も経験の糧になっていまして、何かこの地域でできることはないかなというのは日々考えているところでございます。なので、大学生の皆さんも、地元じゃなくても、ここで何か皆さんと関わりがあったということをご縁に、ここで得たことをまたここで還元する、もし自分が地元がめっちゃ好きやったら、また地元に戻って、地元はどうなっているのかなとか、もっとこういうところ、見えていなかったなというのは、これからの年を重ねていって、また社会人も経て、いろいろ得ていくこともあると思いますので、たくさん住吉区で学んで、また地域のほうに還元していただけたらなと思います。

本当に今日はお疲れさまでございました。ありがとうございます。

【北野（司会）】 ありがとうございます。

最後に、区長より一言お願いします。

【平澤区長】 住吉区長の平澤です。

本日は、区政委員の皆さん、そして大学生の皆さん、本当にありがとうございました。非常に活発な議論をしていただいたと思います。この学生さんとの意見交換といいますのは、夏ぐらいでしたか、1回公立大学の学生さんと万博の機運醸成の関係で意見交換をさせていただいたときに、たしか堺市だったと思うんですけども、堺市のこういった場で学生さんと地域の方と行政とで意見交換をする場があるんだということをおっしゃっていた学生さんがいらっしやいましたので、ぜひ住吉区でもできないかなということで大分大学に無理をお願いいたしまして、ボランティアセンターにもお声がけをして、今日この場を持つことができました。本当にいろんな、議論がどこまでかみ合うかなとちょっと不安もあったんですけども、学生の皆さんも事前によく考えてきていただいて、ご発言もいただいて、地域の皆様からも本当にこういうそれぞれの本音も言っていただき、こういったことができないかというご提案もいただきまして、本当にいい議論になったと思います。

新しいビジョンでも、やはり大学との協働ということを進めていきたいと考えておりますので、こういった場を引き続き持っていきたいと思っております。議論もA、B、C、3つのチーム、それぞれ横で聞かせていただいたんですけども、やっぱり出会う機会がないというのが一番今までの課題なのかなと思いました。マッチングできる機会であるとか、この部分だったら自分は参加できるよというような、オープン自治会というワードが出ていましたけれども、そういったオープンな場であるとか、あるいはイベントのブースを1つ任せるといった、そういった形で、何らかの形でつながる機会を拡大していくことができれば、本当にいいのかなと今日感じたところです。

本当に皆さん、お忙しい中、いろいろご意見をいただきまして、本当にありがとうございました。

ちょっと私事になるんですけども、私、4年間、住吉区長をさせていただいたんですが、4月1日付の人事異動で代わることになりまして、ようやくここまで、学生さんも来ていただくところまでこぎつけたんですけども、また後任の者がより発展させていくことになろうかと思っておりますので、また引き続き、住吉区政にご理解、ご協力をどうぞよろしく

お願いいたします。

本日はありがとうございました。

【北野（司会）】　これで、本日の会議は全て終了いたしました。

委員の皆様には円滑な会議の進行にご協力をいただき、ありがとうございました。

また、学生の皆様におかれましては、本当に意見交換のほうなり、ご協力いただきまして、ありがとうございました。

【辻野議長】　一言だけ、区長退任ということなので、本当にありがとうございました。委員を代表して御礼を申し上げたいと思います。きちっと区の発展に貢献していきたいと思しますので、ありがとうございました。

【北野（司会）】　最後に、学生の皆さんに対しまして、皆さんの拍手をもちまして、感謝の意を表したいと思います。よろしくお願いいたします。

これで、第4回区政会議を終了いたします。本日は、長時間にわたり、ありがとうございました。

学生の皆さんにおかれましては、名札のほう、いすの上のほうに置いていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

—— 了 ——